

あ お も り

# 町村 自治

2018 **4** No.1218

平成30年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
自治功労者表彰名簿	4
道路除排雪経費に対する 特別交付税の配分に関する要望	6
町づくりへの挑戦 中泊町	12
いまが旬！	14
随想 相川鶴田町長	18



## 絢爛 2,000本の桜と鶴の舞橋

鶴田町

木造の三連太鼓橋では日本一の長さを誇る「鶴の舞橋」は、一昨年J R東日本「大人の休日倶楽部」のCMで女優の吉永小百合さんと共演して以来、全国から多くの観光客が訪れる観光名所となっています。津軽富士見湖にかかる鶴の舞橋は、四季折々さまざまな風景を楽しむことができます。今年も、4月28日（土）、29日（日）の2日間、富士見湖パークを主会場に、「鶴の舞橋桜まつり」が開催されます。会場では多くの催しが行われますので、桜の季節の鶴の舞橋の風景と併せてお楽しみください。皆さまのご来場をお待ちしております。

## 本会定期総会

# 地方創生の推進、地方交付税等の一般財源総額確保など決議

## 副会長に吉田深浦町長を選出



定期総会には町村長はじめ42人が出席



関会長が町村財政基盤の充実強化等を訴える

本会は二月二十二日、青森市のラ・プラス青い森で定期総会を開催し、平成三十年度事業計画及び予算などを決定したほか、地方創生の推進など十一項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功労者の表彰を行った。

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など四十二人が出席した。

はじめに関会長があいさつし、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの榮譽に對し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。平成三十年度の地方財政対策では、所要の一般財源総額が確保され、我々町村の財政運営に配慮された結果となった。また、森林環境税が実現し、森林整備等に必要な財源が確保されることとなった。税創設の目的をしっかりと受け止め、森林・林業施策の推進を通して住民の生活を支える重要な役割を果たしていかねばならぬ。我々町村長は、これからも力を合わせ、地域の個性を最大限に発揮しながら地域振興施策を展開し、住民一人ひとりが『この町や村に住んで

良かった』と実感できる町村の実現のために、邁進していくのではないかと述べた。

### 表彰

#### 自治功労者

総会では、全国町村会表彰として自治功労者の小野前中泊町長（欠席）に伝達したほか、県町村会表彰として自治功労者の副町村長三名（代表・南部町 坂本勝二氏）のほか、一般職員百六十七名（代表・鶴田町 山下晃司氏）に表彰状と記念品を授与した。

最後に、被表彰者を代表して坂本南部町副町長が謝辞を述べた。

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の野呂県町村議会議長会会長、丸尾県総務部市町村課長が紹介された。

引き続き、関会長が議長となつて議事に入り、はじめに欠員に伴う副会長の選任を行い、副会長に吉田深浦町長を選出した後、平成三十年年度事業計画案及び予算案など議案四件について審議し、それぞれ原案どおり決定した。

また、浜谷副会長が地方創生の推進や地方交付税等一般財源総額の確保など十一項目の決議を朗読し、満場一致で採択された。なお、決議の実行運動方法については、理事会に一任することとした。



副会長に選出された吉田深浦町長

このため、平成三十年年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を結集しながら積極的に実施する。

また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれまで以上に効果的・



三村知事が来賓祝辞を述べる

青森県町村会事業計画案（抜粋）＝町村の多くは農山漁村地域にあり、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源涵養、自然環境の保全等、極めて大きな役割を果たしてきた。しかしながら、町村は、急速な少子高齢化や人口減少、基幹産業である農林水産業の衰退など、極めて厳しい環境下にある。住民に最も身近な町村が、将来にわたり住民の安全・安心を確保する重責を担い続けていくためには、財政基盤の充実・強化が喫緊の課題であり、また、一億総活躍の実現に向けた更なる地方創生の推進のため、町村は自主的・自立的に地域特性や資源を活かした様々な施策を展



決議文を読み上げる浜谷副会長

開し、豊かな住民生活と個性溢れる多様な地域づくりに取り組んでいかなければならない。

### 決議（項目抜粋）

- 1 一億総活躍社会の実現に向け、地方創生の更なる推進を図ること
- 1 「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 償却資産に係る固定資産税及びゴルフ場利用税を堅持すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、グローバル経済に対応した農林水産業の強力な振興施策、及び万全なTPP・日欧EPA対策を講じるとともに、食の安全・安心の確保を図ること
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 経済の活性化を図るため、地域資源を最大限活用した魅力ある産業の創出等、経済・雇用施策を強力に推進すること
- 1 地方分権改革を推進すること
- 1 道州制は導入しないこと
- 1 地域の魅力をより一層高めるとともに、東北新幹線、北海道新幹線、航空機及び船舶等を活用した観光振興を推進し、交流人口の拡大を図ること
- 1 防災・減災・老朽化対策を強力に推進するとともに、道路、河川、生活環境等の積極的な整備促進を図ること
- 1 急速な少子高齢化や人口減少に対応した医療・保健・福祉・子育て支援施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること

効率的に実施していく。

共済関係事業については、公有財産の保全、町村職員的生活安定を図る立場から、市町村等に対して、加入・継続を積極的に推進し、もつて町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第一号 平成三十年  
青森県町村会会費案＝会費総額は、六百十七万三千元とする。

○議案第二号 平成三十年  
青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案＝經常収支計を、四千四万二千元とする。

○議案第三号 平成三十年  
青森県町村会一般会計予算案＝収入支出それぞれ三億七百四十九万五千元（対前年度比七十四万千円〇・二％減）とする。

○議案第四号 平成三十年  
青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案＝經常収支計を、四千四万二千元とする。

# 受賞おめでとうございます



謝辞を述べる坂本南部町副町長

## 全国町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職四期以上退任）  
北津軽郡中泊町

小野 俊逸

## 青森県町村会表彰 自治功労者（敬称略）

副町村長・教育長  
（在職十五年以上）  
南津軽郡 田舎館村

副村長 葛西 幸男

一般職の職員  
（在職二十五年以上）

下北郡 大間町  
副町長 菊池 武利  
三戸郡 南部町  
副町長 坂本 勝二

平内町 千代谷文徳、大水要、近藤吏、三津谷博、船橋勇  
外ヶ浜町 小川勇一郎、澤谷和香子、五十嵐卓子、小鹿将人、館田美由紀、笹谷一人、大科浅美、内村松子、木村勝二郎、清水浩一、石田孝好、坂井克仁、長内美恵子  
蓬田村 久慈一成、八木澤琴美、稲葉正明  
鱈ヶ沢町 三橋美枝子、奥口寿人、一戸孝美、木村公紀、長内吉昭  
深浦町 堀内昭一、小角等、平澤典子  
藤崎町 長内真理子、神知美、三浦忍、葛西勝則、木村宣文、佐々木克尚、館岡孝志、鳴海浩司、今井恵子、高木裕史、成田充、齋藤章  
大鰐町 岸尚美  
田舎館村 工藤和裕、上田貴光、相坂朱美、佐々木貴詞  
板柳町 葛西公静、工藤保仁、芦田信彦、田沢久志、長尾啓子、對馬潤、野宮千香子、小寺厚哉  
鶴田町 山下晃司、成田和磨、太田有治  
中泊町 毛内康裕、藤本雅久、長利香代子、伏見睦世、古川明彦  
野辺地町 飯田貴子、村山禎親、安田千恵子  
七戸町 附田良亮、澤山晶男、附田真治、三上義也、佐々木和博、金見真樹、大池謙嗣、増田裕子  
六戸町 高橋宏典、佐藤一也、吉田英輔、長谷智、吉田和彦  
横浜町 梅村貴行、杉山敬雄、澤谷隆充、田浦良次  
東北町 甲地徳彦、瀬川司、蛭名美弥子、蛭名誠樹、乙供信博、尾形蘭豪、蛭名直樹、小笠原雅隆、石田雄大、米内山敦  
おいらせ町 松村邦子、成田光寿、久保田優治、馬場靖之、剣吉弘、鈴木麻依子  
六ヶ所村 木村幸男、豊作良子、米川美奈子、村畑祐子、川畑奈穂美、高村健一  
大間町 蝦名正樹、菊池雄三、高松慎悦、笹谷妙子  
東通村 坂本明  
佐井村 松谷統子、宮川洋平  
三戸町 越後守、太田明雄、石井浩、極檀浩、田中尚惠、沼澤修二、幅野恵美子  
五戸町 茂呂みゆき、川崎知香子、原るり子、二ッ森千佳子、小村美幸、中村弘幸、大沢直明、立花隆浩、三浦武寛、佐々木正晴、中村互、鈴木正人、中村美奈子  
田子町 船場由美子  
南部町 野月正治、大羽澤正樹、小林京子、高橋由香、佐々木里美、野田敏之、山本康博、松本朋子、武部邦子、三浦綾子、佐々木和子、佐藤伊代子、柵山美恵子、道上寧子  
階上町 大谷地尚子、古川明美  
新郷村 平葭美幸  
中部上北広域事業組合 鶴ヶ崎牧子、蛭名博之、洞内謙悦、山田いつ子、岡田つせ子  
北部上北広域事務組合 能登隆志、三浦健志、佐藤隆敏、木村政樹、横濱由美子、今奈津子  
西海岸衛生処理組合 石岡十久夫、福井達雄、藤森勉  
鱈ヶ沢地区消防事務組合 堀内玲一、豊澤恭嗣、平沢健、福澤省司

# 平成30年度事業計画 などを審議

平成30年第1回理事会・生協支部委員会

治体政策研究交流会議等の開催について事務局より説明があった。

## 議案

- 議案第一号 平成三十年度青森県町村会事業計画案
- 議案第二号 平成三十年度青森県町村会会費案
- 議案第三号 平成三十年度青森県町村会一般会計予算案
- 議案第四号 平成三十年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案
- 議案第五号 青森県町村会処務規程の一部を改正する規程案

## 協議事項

- 協議事項一 平成三十年度第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件について
- 協議事項二 本会副会長の補充選任について
- 協議事項三 決議案について
- 協議事項四 平成三十一年度予算編成及び施策に関する要望運動案について
- 協議事項五 町村長の健康管理研修案について
- 協議事項六 北東北三県町

本会は二月二十二日の定期総会に先立ち、二月五日、青森市のラ・プラス青い森で、平成三十年第一回理事会を開催した。出席者は、関会長をはじめ役員町村長十一人。理事会では、平成三十年度事業計画などの議案五件及び定期総会次第案などの協議事項八件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。事業計画及び予算案等は二月二十二日開催の本会定期総会に提出することとした。そのほか第三十四回全国自

村長中央研修会・交流会の実施について

- 協議事項七 町村長脳ドック助成金について
- 協議事項八 平成三十年度町村長行政調査研修案について

## 第一回生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国町村職員生活協同組合県支部は委員会を開催し、議案一件を原案どおり承認、決定

し、本会定期総会に報告することとした。

## 議案

- 議案第一号 平成三十年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案

# 市町村長会議提言事項を決定

第2回理事会



市町村長会議の提言事項を協議

本会は三月二十六日、青森市の県共同ビルで平成三十年第二回理事会を開催した。出席者は、関会長をはじめ役員町村長(理事代理含む)十三人。

理事会では、平成三十年度市町村長会議(町村の部)における提言事項について協議し、原案どおり決定した。

- ## 協議事項
- 協議事項一 平成三十年度市町村長会議(町村の部)について10項目を同会議において提言することを決定した。
  - 1 地方創生の推進について
  - 2 町村財政基盤の充実強化について
  - 3 電子行政の推進について
  - 4 海岸漂着物等の対策について
  - 5 医療・保健・福祉・子育て支援施策の推進について
  - 6 雇用施策の推進について
  - 7 農林水産業の振興について
  - 8 社会基盤の整備促進等について
  - 9 観光客誘客対策の強化について
  - 10 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について

# 道路除排雪経費の

## 財政支援等を要望

本会は一月二十六日、平成二十九年度道路除排雪経費に  
対する特別交付税の配分に関  
して総務省と県選出国會議員  
に対して要望活動を行った。  
要望では関会長と浜谷副会  
長が総務省で安  
田事務次官に面  
談のうえ、除排  
雪費が増大して  
いる本県の現状  
を訴え除排雪経  
費の支援を求め  
た。



安田事務次官に要望

また、二月十六日に県、県市長会との合同により、道路除排雪経費に対する特別交付税の配分に関して総務省へ、財政支援に関して国土交通省へ要望した。これは、町村の除排雪作業にかかる費用が増大していることを受け、国の財

政支援を求め実施したものの、要望には三村知事のほか、市長会から小野寺会長、本会から関会長が参加した。当日は、総務省では安田事務次官、黒田自治財政局長、境大臣官房審議官、大沢自治財政局財

政課長に、国土交通省では和田道路局長に面談のうえ、要望活動を行った。また、県選出国會議員には、道路除排雪関連経費の財政支援について要望書を提出した。

### 平成29年度道路除排雪経費に対する特別交付税の配分に関する要望

今冬は、11月中旬から冬型の気圧配置になることが多く、津軽地方を中心に雪の降る日が多かったほか、平年を上回る積雪量を記録した地域もあり、道路交通障害等、住民生活に大きな支障を来しております。

このような状況に対応するため、本県町村は、通勤・通学路などの生活道路の除排雪等、住民生活の安全・安心の確保、及び地域経済活動のために全力を挙げて取り組んでおります。

そのような中、増大する除排雪経費のため、既に補正予算を編成し対応している町村もあり、本格的な降雪期を迎え、除排雪経費の更なる追加など多額の財政支出が見込まれます。

つきましては、本県町村の現状及び厳しい財政状況をご賢察のうえ、平成29年度の道路除排雪経費に対する特別交付税の配分について、特段の御配慮をお願いします。



テレビ番組で  
首都圏へ  
情報発信

本会では、県内三十町村の情報をおもりの首都圏へ発信するテレビ番組「梅沢富美男のあおもりまち・むら情報局」を企画し、TOKYO MXで三月三日から五回にわたって放送しました。梅沢富美男氏が総合プロデューズ兼PR局長として出演し、各町村いち押しで紹介しています。

放送された番組は、本年四月末より本会ホームページで視聴できますので、ぜひご覧下さい！

<http://www.aomori-chousonkaip.jp/>

# 大島衆議院議長を 表敬訪問

本会は、一月十七日、大島衆議院議長の議長再選を祝するため、衆議院議長公邸へ表敬訪問した。出席者は関会長をはじめ、二十九町村長。

衆議院議長公邸では、大島議長との歓談後、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（二〇一七改訂版）」について、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の唐澤剛地方創生総括官から説明を受けたほか、



まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版について説明する唐澤地方創生総括官

衆議院議長公邸の見学等を行った。



# 平成三十年度予算など決定

## 県市町村総合事務組合

県市町村総合事務組合は二月二十二日、青森市のラ・プラス青い森で平成三十年第一回議会定例会を開催した。出席者は関管理者をはじめ、議員等十市町村長。

はじめに、議員の任期満了に伴う組織会において、議長に船橋平内町長、副議長に山本田子町長をそれぞれ選任した。引き続き、関管理者が平

成三十年度予算など三件の議案と一件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり承認、決定した。

議案・報告は次のとおり。

### 議案

○議案第一号 平成三十年度組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八億六千九百五十四万四千円（対前年度比二百八万二千円、〇・二％減）とする。

○議案第二号 平成三十年度組合市町村税等滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八千六百五十一万円（対前年度比一千万円、十・四％減）とする。

○議案第三号 監査委員の選任について



平成30年度予算などを審議

同意を求めるの件Ⅱ議員のうちから選任した監査委員の任期が平成二十九年十一月三十日で満了となったことから、新たに山田大鰐町長を選任した。

○報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（専決第一号）Ⅱ青森県職員の給与改定に準じ、本組合職員の給料月額及び勤勉手当の額等の改定を行う必要が生じたが、議会を招集する暇がないため専決処分したことからこれを報告し、その承認を求めるもの。

# 町村職員採用試験

平成29年度実施状況と

平成30年度実施について

## 平成29年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の平成二十九年度実施状況は下表のとおり。

実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国統一試験の七月二十三日（日）と九月十七日（日）二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

## 平成30年度実施申込受付中

平成三十年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務共済課【電話017（723）1331】にお問い合わせ願います。

## 平成三十年度町村職員採用統一試験の概要

○試験期日・職種

・第一回（上級試験）

平成三十年七月二十二日（日）

・第二回（中・初級試験）

平成三十年九月十六日（日）

○場所

第一、二回とも青森市内

○実施申込方法

各団体に既にご案内している「平成三十年度町村職員採用試験実施申込書」を、四月二十七日（金）までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

・受験者数の報告

第一回（上級試験）は六月十五日（金）、第二回（中・初級試験）は八月六日（月）

までに、受験者名簿を本会へ提出願います。

・公募方法

受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公募をお願いいたします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営

例年、本会職員と試験実施

団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

ます。試験実施申込みのあった団体に後日ご案内します。

・経費負担

試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科目料金を申込人数に応じて負担いただきます。

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を七月上旬に予定しています。

・個別試験

統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみを行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。

平成29年度町村職員採用試験申込者数

(単位：人)

No.	団体名	職 種													合計	
		上 級				中 級					初 級					社会人
		行政	土木	保健師	社会福祉	一般	社会福祉	保健師	栄養師	看護師	理学療法士	一般	消防	土木	建築	
1	平内町	11	1	3	1							8				24
2	今別町	2										1	2			9
3	外ヶ浜町							2				17	2			21
4	蓬田村	4										7				11
5	鯉ヶ沢町					3						14		1		19
6	深浦町					13						7		1		21
7	藤崎町	28														28
8	大鰐町	12	1	3												16
9	田舎館村	21							9			14				44
10	板柳町	14				1				3	5	12				35
11	鶴田町	10		3		1						3		3		20
12	中泊町	9														9
13	野辺地町	8										9				17
14	七戸町	16	1									12				29
15	六戸町	14														28
16	横浜町	4						1	3			3				11
17	東北町	22		2								6				30
18	おいらせ町	20				7				3	4	9				43
19	六ヶ所村	7						1				15				23
20	大間町											11				11
21	東通村	2										2				4
22	風間浦村	4										1				5
23	佐井村											3				3
24	三戸町	5										1			13	19
25	五戸町	14						3				4				21
26	田子町	7				1		2				3			4	17
27	南部町	14				4						11				29
28	階上町	16														16
29	新郷村	1										9				10
30	中部上北広域事業組合											6	9			15
31	三戸地区環境整備事務組合	2														2
32	西海岸衛生処理組合											8				8
33	下北医療センター国民健康保険大間病院					1										1
34	鯉ヶ沢地区消防事務組合(鯉ヶ沢消防署)												6			6
34	鯉ヶ沢地区消防事務組合(深浦消防署)												5			5
35	北部上北広域事務組合											3	18			21
	合計	267	3	11	1	23	8	7	14	6	9	199	42	5	1	631



特選 弘前市「広報ひろさき」

本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、一月二十三日、青森市の県共同ビルで平成三十年県広報コンクール審査会を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙十七点、写真四十点、映像三点の応募があった。

六名の審査委員による厳正な審査の結果、広報紙総合の部で弘前市の「広報ひろさき」(平成29年3月1日号)が四年連続で特選、鶴田町の「広報つるた」(平成29年10月17日号)が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦する。

平成30年県広報コンクール  
 広報紙総合の部  
 「広報ひろさき」が  
 四年連続特選



準特選 鶴田町「広報つるた」

平成30年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門(総合の部)

- 特選 弘前市 「広報ひろさき」 3月1日号※
- 準特選 鶴田町 「広報つるた」 10月17日号※

広報紙部門(市部)

- 入選 三沢市 「広報みさわ」 8月号
- 佳作 十和田市 「広報とわだ」 10月1日号
- 奨励賞 青森市 「広報あおもり」 8月15日号
- 奨励賞 むつ市 「広報むつ」 7月号

広報紙部門(町村部)

- 入選 外ヶ浜町 「広報そとがはま」 12月号
- 佳作 東北町 「広報とうほく」 11月9日号
- 奨励賞 蓬田村 「広報よもぎた」 6月号
- 奨励賞 板柳町 「広報いたやなぎ」 11月号
- 奨励賞 おいらせ町 「広報おいらせ」 9月1日号

広報写真部門(一枚写真の部)

- 入選 東北町 「広報とうほく」 12月7日号※
- 佳作 むつ市 「広報むつ」 3月号
- 奨励賞 田舎館村 「広報いなかだて」 4月13日号

広報写真部門(組み写真の部)

- 入選 深浦町 「広報ふかうら」 12月号※
- 佳作 十和田市 「広報とわだ」 11月1日号
- 奨励賞 弘前市 「広報ひろさき」 9月1日号
- 奨励賞 むつ市 「広報むつ」 3月号

映像部門

- 入選 平内町 「アオモリーノヒラナイ」※
- 佳作 青森市 「八甲田の樹氷」
- 奨励賞 東北町 「第一小学校『米づくり体験学習』」

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品

審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	編集局整理部長	館花光秀
デーリー東北新聞社	取締役 青森支社長	東徹
陸奥新報社	役員待遇 青森支社長	成田幸男
青森放送	報道局報道部長	岡野誠一郎
青森テレビ	報道制作局次長 兼報道制作部長	成田克彦
青森朝日放送	役員待遇 報道制作局長 兼放送番組審議会事務局長	野崎尚史

# 町村長選挙結果

西目屋村長

関 せき

和典 かずのり 氏



任期満了に伴う西目屋村長選挙は、一月二十三日告示され、現職の関和典氏（50）が無投票で四選を果たしました。  
〔略歴〕村監査委員、村議会副議長

おいらせ町長

成田 なりた

隆 たかし 氏



任期満了に伴うおいらせ町長選挙は、二月二十五日、投票が行われ、前職の成田隆氏（67）が二回目の当選を果たしました。

〔略歴〕町議会議員

南部町長

工藤 くどう

祐直 すけなお 氏



任期満了に伴う南部町長選挙は、一月二十三日告示され、現職の工藤祐直氏（62）が無投票で四選を果たしました。  
〔略歴〕旧名川町長、旧名川町役場職員

## 青森県町村長等名簿

平成30年4月1日現在  
町村数30町村(22町8村)

町村	区 分	町 村 長 氏 名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	2	31.11.14	山田光昭
	今別町	中嶋久彰	S30. 7.18	1	33.10.12	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	1	33. 4.23	宮本一男
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	2	33.11. 8	工藤洋一
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	1	33.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	3	32.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村	関和典	S42. 2.24	4	34. 2.25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	2	31.11.19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	2	30. 7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2.10	4	32.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町	成田誠	S28. 3. 4	1	31. 4.29	村上孝夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	1	30. 8.20	
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	1	33. 4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24. 8.16	2	31.10.26	松山英樹
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	4	33. 4.23	似鳥和彦
	六戸町	吉田豊	S25. 3.28	7	32. 1.27	保土澤正教
	横浜町	野坂充	S26. 1.31	4	32.12.11	新渡喜広
	東北町	蛭名鉦治	S34. 9.23	1	33. 4.23	向井正弘
	おいらせ町	成田隆	S26. 2. 4	2	34. 3.25	
下北郡	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1.28	1	30. 7. 6	橋本晋
	大間町	金澤満春	S25. 3. 9	4	33. 1.18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17. 1. 7	6	33. 4.12	林春美
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	1	33. 2.18	
三戸郡	佐井村	樋口秀視	S26. 4.10	1	30. 4.26	
	三戸町	松尾和彦	S38. 5. 9	1	32.12.15	馬場浩治
	五戸町	三浦正名	S29. 1. 1	5	31. 6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	2	32. 1.14	原昌徳
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	6	34. 2.11	坂本勝二
新郷村	階上町	浜谷豊美	S31. 8.23	4	33.12.23	沼沢範雄
	新郷村	櫻井雅洋	S27. 5.25	1	33. 5.28	

## 町村の魅力発信事業助成事業を

是非ご利用ください

「町村の魅力発信事業助成事業」は、平成30年度もこれまでと同様の趣旨で実施しますので、積極的な活用をお願いいたします。

### ■主な助成内容

- 1 助成金額…1町村当たり、平成30年4月1日から平成31年2月28日までに実施する事業に対し、200万円を限度に実費助成
- 2 助成対象経費
  - ・謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会会長が必要と認める経費
- 3 助成対象事業例
  - ・イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
  - ・地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
  - ・産業振興上必要な事業
  - ・地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業
  - ・地域のイメージアップ・環境整備につながる施設整備事業

### ■申請期限

平成30年5月31日（木）までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。

### ■問合せ先

町村の魅力発信事業助成事業に関しては、本会業務共済課（電話…017-723-1331）までお問い合わせ願います。

## 平成30年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日時	場所
町村総務課長会議	5月17日（木） 10時	青森市・青森国際ホテル
理事会	5月31日（木） 11時	町村会役員室
県広報広聴協議会 理事会	5月31日（木） 13時	町村会会議室
全国山村過疎地域振興連盟県支部 理事会	5月31日（木） 13時15分	町村会役員室
発電関係市町村全国協議会県支部 総会	5月31日（木） 13時30分	町村会会議室
総務厚生委員会・産業経済委員会	6月6日（水） 10時	青森市・ラ・プラス青い森
市町村長会議（町村の部）	6月6日（水） 13時30分	青森市・ラ・プラス青い森
平成31年度重点施策提案に係る国会議員説明会	6月10日（日） 13時	青森市・青森国際ホテル
監査会	7月中旬予定	町村会役員室
理事会	7月下旬～8月上旬予定	町村会役員室
町村長健康管理研修	8月21日（火）～23日（木）	
	1日目 定期総会 15時 2日目 健康管理研修	鱒ヶ沢町 グランメール山海荘
	3日目 半日ドック	青森市・総合健診センター
理事会	10月予定	町村会役員室
法令外負担金等委員会	10月～11月予定	町村会役員室
県選出国会議員との懇談会	11月27日（火） 17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月28日（水） 正午	東京都・NHKホール
北東北三県町村長中央研修会 （岩手県・秋田県町村会との合同開催）	11月28日（水） 15時30分	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 （岩手県・秋田県町村会との合同開催）	11月28日（水） 17時15分	東京都・ホテルニューオータニ



高級魚ウスメバルによる観光まちづくり

# 中泊メバルの刺身と煮付け膳で町をPR

メバルシリーズも相次ぎデビュー



デビューからわずか2年で4万食を達成した「中泊メバル膳」

全国でも津軽半島沿岸地域が主な漁獲地となっている高級魚のウスメバル。中泊町は青森県漁獲量の約半数を占め、青森県ナンバーワン！の水揚げを誇ります。他の地域であまり水揚げされないウスメバルを使った、中泊町ならではの当地グルメを紹介します。

## 中泊メバルの刺身と煮付け膳の誕生

中泊町小泊地域は雄大な日本海に臨み海洋資源が豊富です。特にイカの水揚げが多様々加工品も販売されていますが、作り育てる漁業を指し、魚礁の設置や稚魚の放流によりウスメバルの育成に取り組んだ結果、同町のウスメバルは高級ブランド「津軽海峡メバル」として首都圏などで高値で取引されるようになりまし

ました。ウスメバルは鮮やかなオレ

ンジ色で、肉質が良く、身の締まりと淡泊で上品な味わいが特徴。DHAが多く、高タンパク・低脂肪でヘルシーな魚です。

このメバルで地域を盛り上げようと、何度も試作を重ねようやく小泊地域で水揚げされたメバルを丸々一尾使用した「中泊メバルの刺身と煮付け膳（愛称・中泊メバル膳）」が誕生しました。

中泊メバル膳はメバルの魅力を余すところなく生かしており、メバルの刺身姿盛り（お頭付き）やメバルの熱々煮付

け（ファイヤーグルメ）のほか、イカ漁が盛んなことからイカ刺しご飯や地場産の魚介類を使った海鮮汁が付いたご当地グルメです。二〇一五年七月の発売から瞬く間に人気を集め、わずか二年で四万食以上を売り上げ、青森県内ご当地グルメの代表格となりました。



これが「中泊メバルの刺身と煮付け膳」です!!

## メバルシリーズで 誘客の好循環に期待

中泊メバル膳のヒットは町に二億円以上の経済効果をもたらしました。この効果を継続させるため次なる一手としてデビューしたのが、ご当地土産の「中泊メバルでチン！」（愛称・メバチン！）と、ご当地お持ち帰りグルメの「中泊はメバ焼き！」（愛称・メバ焼き！）です。

### ○メバチン！

中泊メバル膳のリピーターからの要望を受け、中泊メバル膳で人気のメバルの煮付けを簡単に食べられるお土産として開発されたのが「中泊メバルでチン！」です。

一匹丸ごとのメバルの煮付けをレトルトにしたもので、電子レンジでチン！するだけ



メバルの目が見える個性的なパッケージの「メバチン！」



でメバルの煮付けを手軽に味わえます。

### ○メバ焼き！

「中泊はメバ焼き！」はメバルがモチーフのたい焼き。



中里高校生のアイデアで誕生した「メバ焼き！」

地域の課題をビジネスの手法で解決しようという取り組みを行っている青森県立中里高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）同好会の生徒が「メバルによる町おこし」のお手伝いをしたいと考え開発、メバル料理推進協議会が協力し完成しました。津軽海峡メバルをかたどったオリジナルの焼き型を使い、つぶ餡のほか町の特産を活かしたブルーベリー餡、トマト餡の三種の味が楽しめます。

## 「メバル押し」で 地域活性化

ここでしか食べられないグルメを求め多くの観光客が町を訪れたことにより、提供店舗の収入増や雇用の増加、また津軽海峡メバルへの注目度が高まり魚価がアップして漁師の所得向上につながっています。さらにはメバル漁師・漁協等の若手を中心となって構成するまちづくり団体「中泊活ハマクラブ」が六〜八月に開催する津軽海峡メバル網外し体験は、取れたてのメバルの刺身が味わえるとあって参加者から好評を博している

ほか、本年一月には本県の冬季観光として定着している地吹雪体験を町で初めて開催し参加者を熱々のメバル汁でもてなすなど、メバルを軸とした交流人口の増加を図っています。

## 今後の取り組み

中泊町では「津軽海峡メバル」が地域団体商標に登録されたことを契機として、更なる知名度向上とウスマバルによる経済効果を持続・発展させるため、新たなお土産品や新メバルグルメの開発に取り組んでいます。今後もメバルシリーズを通じて町をPRするとともに、水産と観光を組み合わせた事業を展開し、食による観光まちづくりを目指しています。

※お問合せは、中泊町水産商工観光課までお願いします。  
【電話0173（57）2111】

中泊メバルキャラクター  
メバルの妖精 テンちゃん



カラカラ  
デンカラ伝説

その昔、地元漁師を不漁から救った魚として「津軽海峡メバル」を「デンカラ（天からの贈り物）」と呼ぶようになりました。

## 中泊メバル膳の食べ方4か条

- まずは、メバルの刺身姿盛りを召し上がれ。刺身は醤油か煎り酒で、炙りは塩で。
- メバルの煮付けが温まったら、手前のお皿に盛って食べましょう。火を消したい時は、火消し蓋を使ってください。
- 海鮮汁は冷めないうちに！
- イカの刺身をごはんに盛り、生姜と醤油をお好みでかけて、香のものと一緒に締めましょう。

## 中泊メバルの刺身と煮付け膳が食べられるお店

	店名	住所	電話番号
1	レストラン竜泊	小泊字折腰内45	0173-27-9300
2	おさかな海岸	小泊字折戸51-34	0173-64-2001
3	はくちょう亭 奈良屋	今泉字唐崎255	0173-58-2816
4	くつろぎダイニング哲。	中里字紅葉坂48-4	0173-57-9086
5	ピュアレ스토랑	八幡字日向334	0173-57-5011

中泊メバル膳が食べられるお店は町内5店舗。共通ルールに基づいた統一メニューとなっており販売価格は全店共通で一膳1,600円（2018年6月1日までの価格）です。デビュー4周年に向けリニューアルも予定している「中泊メバルの刺身と煮付け膳」を是非ご賞味ください。



問い合わせ先 外ヶ浜町役場 産業観光課 TEL 0174-31-1228  
かにた川 TEL 0174-22-2375(期間のみ)

外ヶ浜町蟹田地区では、毎年4月下旬から5月にかけてシロウオ漁が最盛期になり、蟹田川沿いでは漁を間近に見ることができます。また、この時期限定でシロウオ料理を堪能できる食堂が開設し、シロウオの踊り食いや卵とじ、同時期に獲れるトゲクリガニを求め多くの観光客で賑わいます。

- 日時 4月下旬～5月中旬
- 場所 蟹田川沿い特設食堂  
「かにた川」

蟹としらうお祭り

いまが旬!  
そがはま味ち

外ヶ浜町

東津軽郡



問い合わせ先 津軽白神ツアー  
TEL 0172-85-3315

今年も水陸両用バス「津軽白神号」の運行が4月28日(土)から始まります。予約受付は新しく整備された道の駅「津軽白神」の津軽インフォメーションセンター内津軽白神ツアーまでお気軽にご連絡ください。是非、水陸両用バスに乗ってダム湖を遊覧してみませんか?

- 期間 4月28日(土)～10月31日(水)
- HP  
<https://t-shirakami-travel.jimdo.com/>

「津軽白神号」運行開始

いまが旬!  
にしめやむち

西目屋村

中津軽郡



問い合わせ先 大鰐町役場 企画観光課  
TEL 0172-48-2111

色鮮やかなつつじが咲き誇る茶白山公園では、毎年5月下旬頃に大鰐温泉つつじまつりが開催されます。昭和41年から毎年植樹が続けられ、「紅きりしま」や「日の出きりしま」、「久留米つつじ」、「藤ぼたん」など40数種、総数1万5千本以上を数えるつつじの名所となっています。

皆さまお誘いあわせの上、ぜひご来場ください!

第41回

大鰐温泉つつじまつり

いまが旬!  
おおわにまち

大鰐町

南津軽郡



問い合わせ先 ふるさとセンター総合案内所  
TEL 0172-72-1500

今年もミニトマトの収穫体験が始まりました。収穫できるのは赤や黄色、オレンジなど食味や色もさまざまな5品種。1人200円で約200グラムの収穫が可能です。実施は6月末まで(予定)。※生育状況や作業上、体験できない日もありますので、事前にお問い合わせください。

- 時間 9時～12時、13時～16時

ふるさとセンター  
ミニトマト収穫体験

いまが旬!  
いたやなきまち

板柳町

北津軽郡

いまが旬!

# 野辺地町

上北郡

のへじまち

## 柴崎地区

### レクリエーション施設

「柴崎地区レクリエーション施設」は市街地の西方高台にあり、晴れの日には下北半島や陸奥一望、夜は満天の星空を見ることができます!ご家族やご友人と一緒にバーベキューやキャンプを楽しんでみませんか?

【主な施設】 森林総合センター、バンガロー、パークゴルフ場、キャンプ場等

○営業期間 4月下旬～10月31日(水)まで



問い合わせ先 森林総合センター TEL 0175-64-7952(期間中のみ)  
野辺地町役場 農林水産課 TEL 0175-64-2111

いまが旬!

# 東北町

上北郡

とほくまち

## 湖畔の千本桜がお出迎え

花切川から湖水浴場まで続く桜並木は「湖畔の千本桜」と呼ばれるほど、毎年見事な咲きぶりをみせてくれます。

まつりのメイン会場は小川原湖公園。桜の下でお茶をたてる野だてや地引網体験&試食会などが催されます。

また、夜間のライトアップでは日中と違った桜の美しさを見ることが出来ます。

○期間 4月28日(土)～5月6日(日)

○場所 小川原湖公園周辺



問い合わせ先 東北町観光協会  
TEL 0176-56-4148

いまが旬!

# 佐井村

下北郡

さいむら

## 津軽海峡文化館アルサスリニューアルオープン

津軽海峡文化館アルサスが、この度、新しく生まれ変わりました。館内にはエレベーターが付き、今まで以上に利用しやすくなったうえ、外には24時間対応の公衆トイレも完備しました。

さらには、隣接する小さな小さなフードコートにも3店舗が入ります。

新しく生まれ変わった津軽海峡文化館アルサスにぜひお越しください。



問い合わせ先 津軽海峡文化館アルサス  
TEL 0175-38-4513

いまが旬!

# 三戸町

三戸郡

さんのへまち

## さんのへ春まつり

4月27日から5月5日まで「さんのへ春まつり」が開催されます。主会場の三戸城跡・城山公園には1,600本の桜が咲き誇り、唄や踊りのステージで盛り上がります。

また、町出身の漫画家馬場のぼるさんの作品「11ぴきのねこ」にちなんだ「11ぴきのねこバスツアー」も開催され、親子で楽しむことができます(ツアーは要申込)。

○日時 4月27日(金)～5月5日(土)

○主会場 三戸城跡・城山公園



さんのへ春まつり問い合わせ先 11ぴきのねこバスツアー問い合わせ先  
三戸町観光協会 TEL 0179-22-0777 三戸町役場住民福祉課 TEL 0179-20-1151

● 共済契約できる自動車

- |                               |   |                                  |
|-------------------------------|---|----------------------------------|
| 1. あなたの所有する                   | ▶ | ● 自家用普通・小型乗用自動車                  |
| 2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する |   | ● 自家用軽四輪自動車<br>● 自動二輪車 ● 原動機付自転車 |

● 共済掛金と共済金額

用途及び車種 区分		共済掛金額（年間）				
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)	
A 型	対人賠償	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円	
	対物賠償					無制限
	自損事故傷害共済					1,000万円
	限定搭乗者					1,500万円 500万円
B 型	対人賠償	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円	
	対物賠償					無制限
	自損事故傷害共済					1,500万円
	限定搭乗者					1,000万円

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

○町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

**43%割引（9等級）からスタート！**

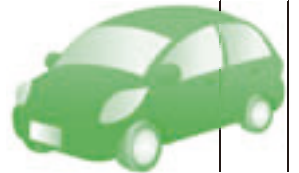
○一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**

○保険料分割払（12回）も選択可能です。

○平成29年1月からロードサービスが自動付帯

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部  
青森県町村会業務共済課 [共済事業] TEL 017 (723) 1331



万一の事故に備えを！

# 自動車共済

## 青森県町村会等事務分担

(平成30年4月1日現在)

### 青森県町村会

常務理事兼  
事務局長

小笠原 靖介

課・職名・氏名	総務課	主要担当業務
総務課長兼業務担当課長	吉本 知己	人事、規約・諸規程の改廃、予算、関係諸団体等との連絡調整、各業務の調整、総会その他の諸会議、総務厚生委員会、顧問弁護士、表彰、軽自動車税申告台数調べ、文書の收受・発送、各団体の予算経理、現金・有価証券の出納・保管、決算、物品の出納・保管、他の所管に属しないこと
総括主幹	上原俊一郎	
参与	土岐 昌二	
主事	阿部由由子	
主事	小野 喬史	
臨時事務手	神 楓花	
臨時事務手	木村 智香	
業務担当課長 (業務関係)	吉本 知己	事業計画、町村行財政の調査、産業経済委員会、エネルギー政策特別委員会、法令外負担金の規制、要望・請願、町村長等・市町村職員の研修会、会報「あおもり町村自治」、町村職員採用試験、町村の振興発展に関する調査・研究、県広報広聴協議会、全国山村過疎地域振興連盟県支部、発電関係市町村全国協議会県支部 (共済関係)
共済担当課長 (共済関係)	小松田 真	
副参事	澤田 博美	
主事	佐藤 博美	
主事	浅野 強太	
臨時事務手	松田 清子	公有建物・自動車共済、職員火災・自動車共済、特定疾病

確かな安心を！

# 住宅火災共済



## 安い掛金で大きな補償を

### ●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

### ●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。

契約額の最高限度は、600口で、6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

### 風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



### 青森県市町村総合事務組合

事務局長 小笠原 靖 介

課・職名・氏名

主要担当業務

総務課  
総務課長・会計管理者

消防団員等公務災害補償等に関する事務、非常勤職員公務災害補償等に関する事務、自治会館の管理・運営に関する事務

主事

吉本 知己

主事

上原俊一郎

市町村税滞納整理機構  
滞納整理課長

市町村税等の滞納整理に関する事務

機構長

阿部布由子

総括主幹

小野 喬史

総括主幹

伊藤 義章

主事

平野 法泉

主事

野藤 彰夫

主事

加藤 武志

主幹専門員

山口 昇

専門員

関 俊輔

専門員

高橋 淳一

専門員

工藤 晃博

専門員

横山 麻美

専門員

阿部 勝

専門員

藤田 昭

臨時事務手

福井 宏

臨時事務手

丹代 明美

備資金  
保険、任意共済保険、団体定期保険、総合賠償補償保険、個人年金共済、災害対策費用保険、収入補償保険、消防設備資金

鶴田町長

あい かわ  
**相川**

まさ みつ  
**正光**

プロフィール

県議会副議長、町収入役。  
現在1期目、64歳。



# 随想

第37話

## 道の駅と鶴の舞橋で

### 町の活力アップ

#### 【町の概要】

鶴田町は、津軽平野のほぼ真ん中にあり、町の中心を岩木川が流れ、南に岩木山、東に八甲田連峰を望む田園風景が広がる町です。産業は、リングとコメを中心とした農業の町で、中でもブドウのスクューベン生産量日本一を誇っています。

また、少子高齢化や人口減少が進む西北五地域の中で、唯一過疎指定を受けていない町です。

#### 【道の駅】

町の東部には、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」があります。町と農協、津軽ぶどう



道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」

村が出資した第三セクターで運営しておりますが、営業開始以来、営業赤字を出していない優良企業であり、雇用の確保や農家所得の向上、町のイメージアップに大いに貢献してきました。

平成十三年にオープンして以来、町の特産であるスクューベンを前面に打ち出し、スクューベンを原料とした加工品の開発・販売に力を注ぎ、これまでにソフトクリームやどら焼き、ジュースなど百五十種類もの加工品を開発してきました。その中でもスクューベン大福は、年間十三万個も売り上げる道の駅の名物となっています。

この道の駅の売り場面積を広げ、加工品の開発を加速させるため、国の地方創生拠点整備交付金を活用して、農産物直売所の新築、急速冷凍庫の導入等の事業を進めております。これによって、農産物等の販売増加、新商品の開発等、道の駅の機能充実が図ら

れるものと確信しております。また、施設内には観光案内所を設置し、鶴の舞橋を中心とした観光情報の発信を加速させる予定となっております。四月にオープンしますので、リニューアルした道の駅で皆様のお越しをお待ちしております。



岩木山と鶴の舞橋

#### 【鶴の舞橋】

町の西部には、津軽西部地域の田んぼの水源となっている津軽富士見湖があり、その面積は東北でも有数の規模を誇ります。津軽富士見湖に架かる鶴の舞橋は、青森県産ひばで造られた三連太鼓橋で、平成七年に開通し、岩木山を背景にしたその姿は町を代表する景観となっております。

鶴の舞橋は、JR東日本が放送した吉永小百合さんのコマーシャル以来、県内外からの観光客が急増しています。旅行会社の観光ルートに組み込まれ、大型観光バスでの観光客が増加し、津軽富士見湖周辺は大いに賑わいを見せています。

町では、陸奥鶴田駅からの二次交通を確保するために、「JR東日本の「大人の休日倶楽部」のパス期間等に合わせ、タクシー料金への助成事業を行っております。鶴の舞橋まで、片道千円で行けるようにして、五能線を利用した観光客に大変喜ばれています。

鶴の舞橋周辺には、中国やロシアから譲り受けた丹頂鶴を飼育している丹頂鶴自然公園、茅葺き屋根の旧家を移築した鶴の里ふるさと館、廃校になった木造の小学校を利用した歴史文化伝承館がありますので、そちらへもぜひ立ち寄りください。

これからも、道の駅と鶴の舞橋を中心とした観光行政を推し進め、町の活力アップにつなげていきたいと考えております。